

令和元年第2回定例会

**一 般 質 問**

古殿町議会

## 令和元年第2回定例会一般質問通告書順

日付	順 番	議 員 名	党 名
6 月 12 日	1	野 崎 喜 彦	無 所 属
	2	緑 川 栄 一	無 所 属
	3	藁 谷 直 吉	無 所 属
	4	岡 部 淳 一	日本共産党
	5	佐 藤 弘 信	無 所 属
	6	佐 川 勇 司	無 所 属

番号	質問者	質問事項	要 旨
1	1 番 野崎 喜彦	1. 防災・減災への取 り組みについて  (町 長)	(1) 町民に対し、国の新しい避難勧告等に関するガイド ラインの周知はどのような方法とするのか。 (2) このガイドラインは「古殿町地域防災計画」にどの ように盛り込んでいく考えか。 (3) 避難準備・勧告・指示の基準は、危険度を5段階に 分けるガイドラインの1から5までのどこに該当さ れるのか。またその情報源は何をもってするのか。 (4) 「古殿町地域防災計画」中の「要配慮者対策」で、 災害情報伝達、避難行動についての対応策は策定済 みか。 (5) 一昨年の6月、被害情報の受信方法として「ラジオ の中継局」開設について提案したがその進捗は。
		2. 空き家対策の推進 について  (町 長)	(1) 空き家の実態調査は実施しているのか。 (2) 「特定空家」の指定はありますか。 (3) 空き家の利活用の方策は持っていますか。 (4) 「管理不全な空き家」を出さないための方策は立て てありますか。 (5) 「空き家バンク」創設などの考えは。
2	3 番 緑川 栄一	1. 交流人口拡大と観 光の創生は  (町 長)	(1) 自然の恵みを活かした産業づくりの具体案は。 (2) 町の観光誘客を図るため、旅行代理店等へのPRは、 なにをどのように行うのか。 (3) 観光創生の具体案は。 (4) 越代のサクラまつり・県地域創生総合支援事業によ る鮫川沿いの花見企画等における入込者数と、関連 による期間中の道の駅ふりどの利用者数は。 (5) 三株高原における中山間地域総合整備事業計画は。 (6) 憩いの森公園における観光創生計画は。

2	3 番 緑川 栄一	2. 高齢者福祉施設等の整備計画は  (町 長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 介護事業所「コスモス荘」の改築・高齢者居住施設新築の進行状況は。</li> <li>(2) 高齢者居住施設において、基本構想・計画策定業務において公募型プロポーザル方式による提案募集を行いました。現在の実施スケジュールは。</li> <li>(3) 過去に町において、公募型プロポーザル方式による実施例は。</li> <li>(4) 公募型プロポーザル方式採用の利点は。</li> </ul>
3	2 番 藁谷 直吉	1. 町の定住人口および交流人口拡大について  (町 長・教育長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 「ご当地婚姻届」と「ご当地出生届」を作成し、若い世代の定住と子育て支援するために町のホームページでダウンロードサービスをする考えは。</li> <li>(2) 株主という投資（寄附）で、駒ヶ城と竹貫城の整備、桜街道と鮫川河川敷整備、ミニモノレールや四輪バギーコース整備、オートキャンプ場などを整備して交流人口を拡大する考えは。</li> </ul>
		2. 林業の活性化について  (町 長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) ふるさと納税の返礼品に、木材加工品を加える考えは。</li> <li>(2) 町の木材加工施設でガラス液体を使用し、木材の強度など高めた付加価値をつけて流通拡大する考えは。</li> </ul>
4	8 番 岡部 淳一	1. 今後10年のまちづくり、考え方と方向性について  (町 長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 町民の目線とは「なに」と捉えているのか。</li> <li>(2) 町民の目線に立った町政とは具体的になにを指すのか。</li> <li>(3) 町民との対話を大切にしたい町政運営の在り方は。</li> <li>(4) 町民との対話と「町長との談話の日」との関連は。</li> <li>(5) 町民との談話から考え出された施策はなにか。</li> <li>(6) 町にとって山積みの重要課題とはなにか。</li> <li>(7) 行政の運営から経営への変化とはなにか。</li> <li>(8) 地方創生は町おこしにつながっているのか。</li> </ul>

番号	質問者	質問事項	要 旨
4	8 番 岡部 淳一	2. 町民にとっての日常生活安全意識と危機管理の在り方  (町 長)	(1) オスプレイが飛行していることを把握しているか。 (2) 国・県の関係部署には確認したのか。 (3) 町上空は飛行ルートなのか。 (4) 全国知事会の対応は承知しているのか。 (5) いつ事故が起きるかわからない。町としてはどう考え対応すべきなのか。
		3. 町民から寄せられた声  (町 長・教育長)	(1) 町内河川の堆砂除去の見通しは。 (2) イノシシ対策での臨時職員対応は。 (3) 住まいと暮らしへの支援事業で今後の支援策は。 (4) 就学援助1万円引き上げはどう対処したのか。
5	5 番 佐藤 弘信	1. 第7次古殿町振興計画の策定について  (町 長)	(1) 平成22年に策定された第6次振興計画の検証・評価を第7次振興計画にどのように反映していくのか。 (2) 第6次振興計画を策定した平成22年とは、町の状況が変わっていると思うが、どのような認識をもっているか。 (3) 第7次振興計画で重要な施策となる構想はあるか。 (4) 第7次振興計画の策定にあたり、国・県の制度改革により大きく変わることは何かあるか。 (5) 第7次振興計画をもとに施策が実施されていくと思うが、その検証を行う行政評価システムを構築し、実施した施策に妥当性があるか検討し、その上で改善を行い、より良い方向に見直しを行っていくべきと思うが、どう考えるか。 (6) 第7次振興計画を策定するにあたり、町民の意見等を反映することも大切であると考えます。どのようなことを行い反映するのか。

番号	質問者	質問事項	要 旨
5	5 番 佐藤 弘信	2. 防災行政無線の運用について  (町 長)	(1) 防災行政無線のデジタル化に向けた工事が行われていますが、現在の進捗状況と、運用開始時期はいつ頃になるのか。 (2) 工事に大きな変更はないか。 (3) 運用については今まで通りか。
6	11 番 佐川 勇司	1. ふるさと回帰支援センターの活用について  (町 長)	(1) センターと管内一素晴らしいわが町の子育て支援等の情報共有はあるか。 (2) 空き家情報発信は。 (3) 現職にこだわらず幅広い分野での職場希望が多いと聞きましたが、働く場所づくりはどう考えるか。 (4) 「セミナー無くして、移住者なし」くらいセミナー開催は重要とのこと。是非、国県の支援を活用して、センターとの協議を重ね、セミナーを開催し、若者移住推進の考えは。